

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年2月23日

中国運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
三次市地域公共交通 会議	備北交通株式会社	三次町循環 4.7km 南畑敷町循環 8.1km	利用者の意見を聞くため、アンケート調査を実施した。	A	B	新たな施設(市民ホール)への立ち寄り等、運行路線の見直しを検討・実施する。	利用者アンケートの実施や路線の見直し等を行い概ね事業の目標は達成できている。今後、アンケート結果を踏まえたルートの見直し、ダイヤ改正等により利用者増加につなげ、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
	備北交通株式会社	赤名線 一日 4往復 (車両減価償却費等国庫補助金)	—	A	B	夕方の便について下校に利用しやすいようダイヤ改正の要望もでており、見直しを検討する。		
	備北交通株式会社	下高野線① 一日 3往復 下高野線② 一日 1往復	—	A	A	4月以降路線を見直してから利用が伸びており、引き続き沿線等への利用促進を行う。		
	NPO法人元気むらさき	作木町上地区 作木町中地区 作木町下地区 各地区週1回	一部運行路線の見直しを行った。	A	B	作木町内を運行している市民バス等との住み分けなどについて、検討を実施する。		

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
廿日市市公共交通協議会	佐伯交通有限会社	玖島・友和線	<p>・デマンド交通の説明用動画を作成し、佐伯地域の民生委員・児童委員協議会において説明を行った。</p> <p>・所山線について、利用の少ない月水金の運行を廃止し、効率化を図った。</p> <p>・浅原線について、住民から要望のあった掘ヶ迫団地へ乗り入れを開始した。</p>	A	B	<p>・玖島・友和線は平成25年に玖島線と友田・河津原線を統合し新設した。目標達成のため更なる周知を図る。</p> <p>・所山線は利用者数の目標は達成しているものの、午後の便を中心に稼働率が低い状況が続いているが、平成25年4月に毎日運行を曜日運行化し、大幅な減便を行っており、更なる減便は大幅な利用者減を招く恐れがある。</p> <p>・これまでサロン等で説明を行ってきたが、今後もさらに対面での周知、PRの機会を増やすとともに、チラシや利用の手引きと合わせて、分かりやすい説明用動画を用い、利用促進を図っていく。</p> <p>・計画当初の需要予測の点が課題とされた点については、再度支所や事業者等に聞き取りを行い、目標値の再考を検討する。</p>	<p>住民への説明機会の増加や運行曜日(日数)や系統の見直しを図り概ね事業の目標は達成できている。</p> <p>今後、利用促進、ダイヤの検証等を行うことで、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	
	佐伯交通有限会社	所山線		A	A			
	有限会社津田交通	浅原線		A	A			
	有限会社津田交通	飯山・中道線		A	A			
	有限会社津田交通	吉和線		A	B			
府中市地域公共交通活性化協議会	(株)中国バス	府中市役所～府中駅前～リ・フレ前～府中市役所	<p>周知、利用促進の取組みについては寒くなる季節にどうしても利用者が減る傾向が見られるのでバスの運行事業者と共同でクリスマスシーズンに車内デコレーションを施してお出掛けが楽しくなるような演出を行った。</p>	A	A	<p>観光資源を活かした新たな利用者の発掘と市街地循環バスの特徴(他の路線バスとの乗り継ぎや生活関連施設への移動が便利等)を活かした「生活交通バス」としての利用をPRする。</p>	<p>閑散期に利用促進策を講じ全ての事業目標を達成したことは評価できる。</p> <p>今後、PRによる新たな利用者の発掘を行い、より持続可能な交通ネットワークが構築されることを大いに期待する。</p>	

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
安芸高田市公共交通 協議会	備北交通(株)	美土里区域	前回の事業評価をうけて、利用者 ニーズの基礎データとなるアンケート 調査の様式等の見直しを行う予定 である。 (アンケート実施予定：平成27年2月 頃)	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ・便の時間帯によって利用者に差が有るため、均等化を図る。利用目的の分散化を念頭に、病院等利用の多い施設と連携を図る ・今後も引き続きアンケート調査を行い、潜在的なニーズの掘り起こしを行う。アンケート調査の項目は適切なものとなるよう検討を行う。 ・各家庭設置の情報端末を利用した、効果的なPRや情報提供の実施。 	<p>デマンド運行でありながら8割以上の運行率を維持しており、目標についても概ね近い数値が達成できている。今後、利用者アンケート結果を着実に利用者増加につなげ目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	
	備北交通(株) (有)高宮中央交通	高宮甲田区域						
	織田産業(株) (有)吉田タクシー (芸北タクシー)沖田正	吉田八千代区域						
	(有)甲立タクシー (三ツ矢タクシー)岩本薫 (向原タクシー)升岡秀治	甲田向原区域						
	安芸高田市	<ul style="list-style-type: none"> ・二重谷～下川根～式敷駅 ・二重谷～梶矢橋～高宮中学校 ・二重谷～下川根～吉田 ・二重谷～下川根～高宮支所 						
三原市地域公共交通 活性化協議会	三原市	<ul style="list-style-type: none"> ①徳納(保)宅横～小林鍼灸院 ②下谷橋～中山歯科 ③山崎倉庫跡～中山歯科 ④和木ストア～中山歯科 ⑤村上店～中山歯科 	運行ダイヤを見直し、復路2便目の 利便性を改善した。	A	B	<p>利用者のニーズ把握に努め、経路の変更・見直し等を検討する。その他、利用促進のための広報活動を町内会等との協働の視点から進めていくことを検討する。</p>	<p>ダイヤの見直しで利便性を向上させ、目標についても概ね近い数値が達成できている。今後、住民への周知や経路の見直し等により目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
江田島市公共交通協議会	(株)江田島タクシー	江田島北部線 大須～切串～小用 (江田島町)	・利用実態に応じた運行の見直しを行うため、運行の基準を設けた。結果、1便減便した。 ・運行の基準及びダイヤ改正の周知と併せ、利用促進・維持についてチラシの配布と説明等を行った。 ・切串航路のダイヤ改正に伴い、運行ダイヤの見直し、接続を改善した。	A			<p>・現在設けている運行の基準をもとに運行の見直しを行い、その地域に最適で持続可能な移動手段の確保に努める。</p> <p>・地域要望については、利用状況を注視しつつ、地域の公共交通であるという更なる意識付けが可能となる協議方法等を検討し、できる内容について見直しを図っていく。</p> <p>・来年度作成する地域交通網形成計画において、全市的な視野でその他交通制度とあわせて、効率的・持続可能なデマンド運行や移動手段の確保に努める。</p> <p>航路との接続改善などのダイヤの見直しや車両の小型化により、利便性の向上や効率化を図ったことで、全体としては対前年利用者数を増やしている。今後、更なる利用促進と効率的な運行の維持等により、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	
	三高タクシー	沖美北部線 美能～高田～中町 (沖美町・能美町)	・三高航路のダイヤ改正に伴い、運行ダイヤの見直し、接続を改善した。 ・利用実態に応じた運行の見直しを行うため、運行の基準を設けた。結果、車両をセダン化した。 ・ダイヤ改正及び運行の基準、セダン化の周知と併せ、利用促進・維持についてチラシ配布と説明等を行った。	A	B			
	(有)能美タクシー	沖美南部線 三吉～中町～大君 (沖美町・能美町・大柿町)	・三高航路のダイヤ改正に伴い、運行ダイヤの見直し、接続を改善した。 ・地域要望のあった1便(18時台)実験運行を行った。 ・利用実態に応じた運行の見直しを行うため、運行の基準を設けた。 ・ダイヤ改正及び運行の基準、実験運行の周知と併せ、利用促進・維持についてチラシ配布と説明等を行った。	A				

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島市陸上交通地域協議会	(有)カープタクシー	宮の脇集会所～池田整形外科前～宮の脇集会所	利用促進策として3日間の無料体験乗車を実施した(平成25年8月)。また、定期的な利用を促進するため、賛助会員制度(月1回以上利用することで乗合タクシーの運行を支援する会員制度)を設けた。	A	B	賛助会員の募集により定期的な利用を促進するとともに、乗車券の限定無料配布を行うなど、新規利用者の開拓に努める。	地元住民組織と事業者とが交通手段の確保と利用促進に努めており、概ね事業の目標は達成できている。今後、新規利用者の開拓などの利用促進を図り、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
		宮の脇集会所～広島厚生病院前～宮の脇集会所						
		宮の脇集会所～池田整形外科前～宮の脇集会所						
		東本浦～広島厚生病院前～宮の脇集会所						
		池田整形外科前～広島厚生病院前～宮の脇集会所						
		宮の脇集会所～マルシヨク前～宮の脇集会所						
		かすみ一番街～マルシヨク前～宮の脇集会所						
	(有)やぐちタクシー	レッツ前～矢口駅～レッツ	事業の長期継続を図るため、情報交換会を開催し、資金確保策等について審議した。	A	A	引き続き、商業施設等と連携し、周知活動を行うなど、利用促進に努める。		
		レッツ前～矢口駅～上矢口						
	(有)中野タクシー	上平原～JR安芸中野駅前～安芸市民病院	利用者数の増加を図るため、住民アンケートを実施し、新たな利用促進策の実施や運行ルート・ダイヤ改正等について検討した。	B	A	地域の移動手段として定着するよう、計画に基づいた適切な運行を実施するとともに、引き続き、周知活動を行うなど、利用促進に努める。		
瀬野川病院～JR安芸中野駅前～安芸市民病院								
ひまわり・ダイキ前～JR安芸中野駅前～安芸市民病院								

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
東広島市地域公共交通会議	中国ジェイアールバス株式会社	黒瀬地域におけるフィーダーバスの運行(7系統) ①洪・長貫～ショージ線 ②洪・長貫～黒瀬支所線 ③文化会館～黒瀬支所線 ④八畝ヶ畑～黒瀬支所線 ⑤洋国団地～黒瀬支所線 ⑥檜原～黒瀬支所線 ⑦上条～黒瀬支所線 (車両減価償却費等国庫補助金)	-	A	B 3目標のうち 2目標は達成 (A評価)	運行開始から3か月余りの実績であるが、各系統により利用実績のばらつきが見られる。これは、運行ルートの特徴・居住人口によるもの(団地:多、農村部:少)と考えられ、この差は当初から見込まれているものである。本目標は、黒瀬地域全体で、フィーダーバスを維持するという目的から設定したものであり、地域による利用者数の多少はあるものの、7系統トータルでの目標達成を目指し、引き続き利用促進に取り組み、利用者増に努める必要がある。	地域住民の交通手段の確保のため運行を開始し、概ね事業の目標は達成できている。今後、更なる利用促進を図り、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
庄原市地域公共交通会議	備北交通株式会社	下高野線① 1日 3往復 下高野線② 1日 1往復	-	A	A	4月以降路線を見直してから利用が伸びており、引き続き沿線等への利用促進を行う。	地域住民の交通手段の確保のため運行を開始し目標を達成したことは評価できる。今後、更なる効率化と利用促進を図り、より持続可能な交通ネットワークが構築されることを大いに期待する。	
鳥取市生活交通会議	日本交通(株)	①米里線(越路～市立病院) ②米里線(越路～桜谷口) ③浜村青谷線(浜村～青谷)	住民要望の把握に努め、ダイヤ改正やルート改善等のサービスの見直しを行い、利用者の利便性向上に努めた。	A	A	今後も必要に応じて、PDCAサイクルに基づく見直し・改善及び地域と協働の利用促進活動を行う。	ダイヤの見直しやルートの変更により利便性を向上させ目標を達成したことは評価できる。今後、利用実績の向上等を図り、より持続可能な交通ネットワークが構築されることを大いに期待する。	
隠岐の島町地域公共交通会議	隠岐の島町	福祉タクシーさかえ 五箇循環線 五箇支所～五箇支所(循環線)	五箇循環線の事業内容については、地域の意見を反映させて増便対策を実施し、その結果を見きわめたうえでよりよいダイヤを編成する予定である。	A	A	今後も引き続き利用者ニーズを把握して、利便性の向上と利用促進につながる運行形態の見直しを必要に応じて行っていく。	年間利用者数を増やし目標を達成したことは評価できる。今後、地域住民の意見を反映させ更なる利便性の向上と利用者の増加を図り、より持続可能な交通ネットワークが構築されることを大いに期待する。	

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
江津市地域公共交通会議	江津市	松川波積線 ①川平駅～久坪～上津井～波積診療所 ②上津井～久坪～川平駅	時刻表の全戸配布を行うなど利用促進に努めた。	A	A	目標どおりの成果が見られるため、現行のまま継続し、住民との連携に一層努める。	災害の影響があった系統以外については事業の目標は達成できている。今後、実績運行回数改善のため、住民への周知や計画の見直し等により、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
		有福千田線 有福本明～堂庭～千田～跡市バス停	ニーズ把握を行い、それに合わせて必要な増便を検討することで相乗的に利用者を増やすこととしたが、豪雨災害により当該地区が大きく被災したことで計画を延期せざるを得なくなった。	B	C	現在、ニーズ調査を実施しているところであり、この結果に基づいて住民と運行形態の再検討を行う。		
		川平線 後谷～奥谷～川平駅口	時刻表の全戸配布を行うなど利用促進に努めた。	A	A	目標どおりの成果が見られるため、現行のまま継続し、住民との連携に一層努める。		
雲南市地域公共交通協議会	島根県雲南市	吉田：芦谷ルート (吉田～芦谷)	自治会長会において、利用状況を説明し、利用促進を図っていただくよう協力要請を行った。	A	B	地域組織との連携により、利用者ニーズを活かした運行形態・エリア設定・幹線である吉田大東線及び北原線との接続改善等に向けたダイヤの見直しにより、更なる利便性の向上と利用者の増加を目指し持続可能な運行を実施する。	概ね事業の目標は達成できている。今後、ダイヤの見直しや利用促進等により、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
		吉田：杉戸ルート (吉田～杉戸)		A	A			
		吉田：菅谷・川尻ルート (吉田～菅谷・川尻)		A	A			
		吉田：民谷ルート (吉田～民谷)		A	A			
		吉田：曾木・上山ルート (深野～曾木・上山)		A	A			
		吉田：川手ルート (深野～川手)		A	C			
飯南町地域公共交通会議	飯南町	赤名吉田線	—	A	A	利用者数を維持しつつ、必要があれば改善を行う。	地域住民の移動手段確保のため運行を開始し、概ね事業の目標は達成できている。今後、ダイヤの見直しや周知を図ることにより、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
	備北交通株式会社	赤名線	—	A	B	利用者数の増加を図るため、町営バスとの運行時刻重複ダイヤの見直しや広報策を検討する。		

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津山市地域公共交通 会議	中鉄北部バス(株)	加茂支所線 (イオン津山店前～めぐみ 荘)	市内バス路線を網羅したバスマ ップの周知に関しては、観光協会をは じめ、たとえば競技場でスポーツ競 技の公式試合があるタイミングでは バスマップを重点的に補充するな ど、施設の案内のなかに活かしても らっている。 一部循環線については、乗降調査 と併せて利用者アンケートも実施し、 利用目的と動態調査を行い、利用 者ニーズの把握にあたっている。	A	B	平成25年4月から市内西部地域を中心 とした体系整備により、3ヶ年計画の津 山市公共交通連携計画に沿った再編が 一通り完了した。これと同時に、地域内 フィーダー系統を核とした時刻表改正等 を実施し、同時に市内バス路線を網羅し たバスマップを作成し、市民に広く広報 に努めている。 今後は、利用者や地域住民等からの意 見・要望・評価を踏まえ、運行ダイヤの 改良、接続の時間等も見直していくと ともに、これらバス路線の周知を各地域に 合った形で図る。	住民への周知活動やアンケート 調査を実施し利用者増に努め たことにより概ね事業の目標は 達成できている。 今後、更なる接続の改善、利用 促進等により、目標の達成、そ れによる持続可能な交通ネット ワークが構築されることを期待 する。	
		勝北支所線 (イオン津山店前～新野桜 橋)		A				
		(奥津川)勝北支所線 (イオン津山店前～奥津川)		A				
		津山東循環線 (津山～イオン津山店前～ 津山)		A				
		小循環線 (津山～鉄砲町～津山)		A				
		津山西循環線 (津山～マルナカ院庄店～ 津山)		A				
		マルナカ西循環線 (マルナカ院庄店～津山～マ ルナカ院庄店)		A				
	特定非営利活動法人エコビ レッジあば	阿波区域	—	A	A	・今後も地域だよりをはじめとした利用 促進・啓発等を推進し、より一層の環境 整備を行う。 ・利用者が不満と感じている点や今後 期待するサービス等について調査・検 討を実施する。		

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
新見市地域公共交通 会議	備北バス(株)	上市横見～石蟹	利用者のニーズに合うよう、運行形態、ダイヤの見直しを随時行った。また、新たな利用者の掘り起こしを行うため、新見市の広報誌等で利用促進を図った。	A	B	今後も引き続き啓蒙活動を行いながら、潜在的な利用者の掘り起こしを行う。また、より一層の利用者の確保を行うため、利用者ニーズを活かした運行形態、ダイヤの見直しを行うことにより、持続可能な運行を実施する。	ダイヤの見直し等により利用促進策を講じ、概ね事業の目標は達成できている。今後、更なる利用促進、運行形態、ダイヤの見直しにより、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
真庭市地域公共交通 会議	真庭市	■フィーダー系統 ①久世～蒜山(1日12便) ②久世～新庄(1日8便) ③久世～北房(1日12便) ■減価償却費補助 1台(①ルート)	市内全高校生徒を対象にアンケート調査を実施し、通学に合わせてダイヤの一部を見直すとともに、①ルートの運行車両内1台の更新を行った。	A	A	市内高校生徒の登下校時刻や、乗り継ぎ利便性を勘案し、ダイヤ設定の見直しをさらに検討する。	利用者アンケート調査やダイヤの見直しにより利用促進策を図り目標が達成されていることは評価できる。今後、更なる利便性の向上を図ることで、より持続可能な交通ネットワークが構築されることを大いに期待する。	
玉野市地域公共交通 会議	旭自動車(株)	①玉原・和田・日比エリア ②荘内・八浜エリア	①エリアのセダン型車両を1台増車 ①、②エリアの乗り場の変更、廃止を行った	A	A	・利用者アンケートや高齢者アンケート(老人クラブ会員対象)を実施するとともに、各地域において、乗り場に対する要望等が挙がっていることから、これら改善ニーズへの対応を行い、利便性の向上を図る。 ・利用者が当初の予想を大きく上回ったことから、予約が集中する時間帯には、受付並びに配車計画作成に支障を来すことがあるほか、電話予約が困難な聴覚障害者が利用できるよう配車システムを導入し、事務の効率化とさらなる利便性の向上を図る。 ・シーバス東見～すこやか線の通学時間帯の経路を一部変更し、シータクとの総合的な利便性改善に努める。	利用者アンケート調査やダイヤの見直しにより利用促進策を図り目標が達成されていることは評価できる。今後、乗り場改善、サービス水準向上などを行うことで、より持続可能な交通ネットワークが構築されることを大いに期待する。	
	双葉タクシー(株)	③山田・東児エリア	②エリアからのJRへの乗り継ぎをえるように変更を行った					
	下電観光バス(株)	④田井・中央(宇野・築港)・玉エリア	—					

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
笠岡市地域公共交通 活性化協議会	(株)笠バスカンパニー	大島中線	地域住民の移動手段である乗合タクシーの利用促進を図るため、数値目標として平均乗車数及び収支率の向上を設定した。	A	B	引き続き、乗車数の維持を図るため、大島中地区に限らず、沿線住民の幅広い活用を検討する。	住民への周知やイベント等の利用促進を図り概ね事業の目標は達成できている。 今後、更なるダイヤの見直し、利用促進等により、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
		尾坂線	その上で、調査事業を活用したモビリティ・マネジメントや、イベントの開催を通じて公共交通の積極的なPRを図った。	A	B	平均乗車数は改善されたものの、運行割合が約13%に留まったことから、ダイヤや便数の見直し等、運行割合の改善を図る。		
		美の浜線	—	A	B	笠岡市交通交流センターでのパークアンドライドの推進や協働推進事業の活用による、路線の利用促進を図る。		
倉敷市地域公共交通 会議	(補助対象事業者) 倉敷市地域公共交通会議 (運行事業者) (株)日の丸タクシー	西ルート(区域運行) (真備町妹、尾崎、服部、 箭田、市場、有井、川辺、岡 田、辻田地区の一部)	真備地区全域を対象とした地元住民主体の運営委員会を設立(H25.2.5)し、住民アンケート調査等を実施し、運行内容を見直してH25.8.1から再編して運行を行った。 また、今年度、モニタリング調査の対象に選定され、利用実態調査、居住者アンケート、関係者ヒアリングなどを行い、目標値の設定や課題の抽出と対策(案)の検討を行った。	B	B	モニタリング調査により、広報を強化すれば、潜在的な利用者が多いことが分かった。 また、買い物施設等は、少額なら協賛金や商品割引券の配布など、利用促進活動にも前向きであることが分かった。 今後は、この結果を地元運営委員会と共有し、連携して継続的な広報活動、利用促進活動に取り組んでいく予定である。	利用者アンケート調査やダイヤの見直しにより利用促進策を図り、概ね事業の目標は達成できている。 今後、更なる利用促進を図ることにより、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
		東ルート(区域運行) (真備町市場、箭田、有井、 岡田、辻田、川辺地区の一部)						
		南ルートA(区域運行) (真備町市場、箭田、有井、 岡田、辻田、川辺、下二万、 上二万地区の一部)						
		南ルートB(区域運行) (真備町上二万、船穂町船 穂地区の一部)						
赤磐市地域公共交通 会議	(有)竹内タクシー (有)荒嶋建設	赤磐市吉井地域でのデマンド型市民バスの運行	平成25年9月より通院や買い物等の活動や地域外への移動ニーズを踏まえた幹線(路線バス)との連携(乗り継ぎに配慮したダイヤ設定)にマッチするよう市民バスのダイヤの改善を行った。	A	A	全体の利用者数は増加しているものの、特定の運行地域で利用者が減少していたり、元々の利用者数が少ないなどの問題があるため、個別の運行地域について情報収集・検証・改善を行う必要がある。	ダイヤを見直すことで、利用者の増加につなげ、目標が達成されていることは評価できる。 今後、個別の検証等を行うこと等により、更なる利用促進を図り、より持続可能な交通ネットワークが構築されることを大いに期待する。	

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鏡野町地域公共交通協議会	中鉄北部バス(株)	上齋原～マルナカ線	新規事業	A	A	・町民の外出支援として定着させるとともに新規利用者の発掘を検討する。 ・本系統を含め、町全体の公共交通の利便性の向上、快適な交通機関とする。 ・満足度は、昨年度「町民アンケート」による6.4%から7.3%に上昇しており、目標数値に達していないものの、向上が認められる。	住民の外出支援として運行を開始し、概ね事業の目標は達成できている。 今後、新規需要の発掘や更なる利便性の向上を図り、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
吉備中央町公共交通協議会	中鉄バス(株)	・総社～田土線 ・総社～妙仙寺線	今回が最初	A	B	利用実績の少ない総社市内循環路線の見直しとともに、高校生の利用しやすいダイヤの改訂を検討する。	地域住民の移動手手段確保のため運行を開始し、概ね事業の目標は達成できている。 今後、ダイヤの見直し等により、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
美祢市地域公共交通協議会	美祢構内タクシー(株)	山中・堀越外地区	乗降場所の事業者との新たな事業連携を検討した。	A	B	乗降場所の事業者にとってもある程度の利益をもたらすものであり、引き続き乗降場所の事業者との新たな事業連携を行っていく必要がある。	ダイヤの改正、地域での運賃負担の働きかけや乗降場所の検討を行い、概ね事業の目標は達成できている。 今後、地域との連携をより強め、利用促進策の実施により、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
	いさむや第一交通(株)	美東地域北部	一部店舗が実施する利用者への片道運賃の負担について、他店でも同様の取組が出来ないか働きかけを実施。	A	B	一部店舗で利用者に対する運賃負担を行っている。こうした取組が地域ぐるみで他の店舗でも行われるよう引き続きPRしていく。		
	(有)秋芳タクシー	秋芳地域南部	一部店舗が実施する利用者への片道運賃の負担について、他店でも同様の取組が出来ないか働きかけを実施。	A	B	一部店舗で利用者に対する運賃負担を行っている。こうした取組が地域ぐるみで他の店舗でも行われるよう引き続きPRしていく。		
	美祢構内タクシー(株)	豊田前・西厚保地区	競合する事業者との協議を進め、競合部分の解消を図り、区域拡大及びダイヤ改正を実施。	A	A	スクールバスとしての運行以外の利用を拡大するため、利用方法等の周知徹底が必要。		
	いさむや第一交通(株)	美東地域南部	—	A	B	一部店舗で利用者に対する運賃負担を行っている。こうした取組が地域ぐるみで他の店舗でも行われるよう引き続きPRしていく。		

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岩国市地域公共交通 活性化再生法協議会	岩国市	欽明路・上谷線 (玖珂駅～上谷東)	JR岩徳線のダイヤ改正に合わせ ダイヤの調整を行った。また、時刻 表の 主要施設等への設置、ホーム ページ等へ掲載等により周知を図っ た。	A	B	ダイヤの見直し前を上回る利用がある ことから、当系統を維持することで、隣 接市や市中心部への移手段の確保、 高齢者の外出促進、地域住民の活動機 会の増加などで地域活性化に繋がって いるものと考えられる。 今後も引き続き、啓蒙活動及びJR岩 徳線・広域路線バスへの乗り継ぎに適 したダイヤの設定等の利用促進を行 い、特に、1運行当たりの利用者数が前 年度を下回っている3路線については、 利用者ニーズを活かした運行形態、ダ イヤの見直しをすることで、目標を達成 すべく持続可能な運行を実施する。	啓蒙活動及びダイヤの見直し 等の利用促進を図り、概ね事業 の目標は達成できている。 今後、ダイヤの改善などの利用 促進、運行の効率化により、目 標の達成、それによる持続可能 な交通ネットワークが構築され ることを期待する。	
		谷津上線 (玖珂駅～谷津上回転場)						
		臼田線 (玖珂駅～臼田回転場)						
		上市北・千束線 (玖珂駅～玖珂千束)						
		玖西循環線 (玖珂駅～玖珂駅)						
下関市地域公共交通 会議	人丸タクシー(株)	粟野・滝部線 油タンク前～ももせ滝部診 療所	定期的に通コミュニティタクシー運行委 員会を開催し、PRを継続して行っ た。	A	C	定期的に通コミュニティタクシー運行委員 会を開催し、運営改善を行う。また、地 域内イベントに併せて体験乗車会の実 施などを計画し、新規利用者の獲得を 図る。	タクシーの配布等により利用促進 を図り、概ね事業の目標は達成 できている。 今後、更なる利用促進策、運行 の効率化を検討し、目標の達 成、それによる持続可能な交通 ネットワークが構築されることを 期待する。	
	下関市	壱路子線 豊田総合支所～上壱路子	各戸配布を継続的に行い、更なる利 用促進を図った。また、アンケート調 査を実施。	A	A	自治会へのチラシ各戸配布等を行い、 更なる利用促進を行う。		
		一の俣線 豊田総合支所～佐野		A	C	自治会へのチラシ各戸配布等を行い、 更なる利用促進を行う。また、今年実施 したアンケート調査結果を踏まえ、利用 促進の方法を検討する。		
		今出線 豊田総合支所～地吉		A	C			
		一の瀬線 豊田総合支所～中の瀬		A	C			
		縦の木・保木線 バスターミナル～縦ノ木	啓蒙活動を行い、新たな利用者を確 保した。また、各戸配布を行い、更な る利用促進を図った。	A	A	自治会へチラシの各戸配布、イベント時 に啓蒙活動を行い、更なる利用促進を 行う。また、利用しやすい運行について 検討する。		

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇部市地域公共交通 確保維持改善協議会	山彦タクシー 伊藤正一	小野線	地域イベントでの周知活動を行い、潜在需要の掘り起こしに努めた。	A	A	通院や買い物など利用のモデルケースを提案し、潜在需要を掘り起こし、収支率の向上を図る。	イベントによる周知活動や利用者ニーズの把握などの利用促進を図り、概ね事業の目標は達成できている。 今後、更なる利用促進や運行の効率化により、目標の達成、それによる持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。	
	(有)嘉川タクシー	二俣瀬線	安定した収支率を維持していくため、運転手へのヒアリングなど利用者ニーズの把握に努めた。	A	A	利用者ニーズを把握しながら、利用促進を行い、安定した収支率を維持していく。		
	船木鉄道(株)	吉部線、万倉線	地域イベントでの周知活動を行い、新規利用者の獲得に努めた。	A	B	運行エリアの見直しなど利便性向上に努め、新規利用者の獲得を図り、収支率の改善を図る。		
	宇部山電タクシー(株)	西宇部線	地域イベントの開催や、会合でのチラシ配布などにより、利用者の増加に努めた。	A	B	イベントなどによる周知活動を継続し、さらなる利用者数の増加を図る。		
	宇部市交通局	東部市内循環線(めぐりーな) (沼・工学部回り) (恩田・空港回り) 車両減価償却費 (ノンステップバス2両)	イベントなどでの時刻表やチラシの配布により情報提供に努めた。 計画通りノンステップバスの導入を進めた。	A	B	乗り継ぎ改善や情報提供などにより利用者数の増加に努めるとともに、人件費などの経費削減を図り、収支率の改善を図る。		

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿武町地域公共交通 会議	阿武町	【奈古系統】 阿武町役場～筒尾・河内 ～阿武町役場	広報あぶ、ケーブルテレビの阿武町 情報コーナーでPR。 また、ルートを見直し、住宅街である 下郷～野柳～美咲～体育センター に停留所を設け、ルートに加えた。	A	A	利用促進に向けて事業のPRを行うとと もに、利用者のニーズを運転者協議会 を通じて地域公共交通会議で協議し、 事業に反映する。	広報活動やルートの見直し等に より利用促進を図り、概ね事業 の目標は達成できている。 今後、更なる利用促進や運行 の効率化により、目標の達成、 それによる持続可能な交通ネット ワークが構築されることを期待 する。	
		【宇田郷系統】 ふれあいセンター～ 惣郷・井部田・平原・つづら ～ふれあいセンター	同上でPR。 また、田部方面への時間を早め利 用しやすくした。	A	B	(同上) 特に利用促進に向けて、海岸部の川尻 ～尾無に停留所を設けるルートに改善 する。		
		【福賀1系統】 福賀診療所～宇生賀・伊当 ～のうそんセンター	同上でPR。	A	A	(同上) 特に利用促進に向けて、要望の強い林 業センター前の停留所を設け、ルートを 改善する。		
		【福賀2系統】 福賀診療所～ 飯谷・久瀬原 ～のうそんセンター	同上でPR。	A	A	(同上) 特に利用促進に向けて、飯谷停留所か ら農道経由で飯谷集落を一周するル ートを追加する。		
長門市地域公共交通 計画策定協議会	特定非営利活動法人 ゆうゆうグリーン俵山	俵山公民館～俵山地区～俵 山公民館	—	A	B	利用者の聞取りによるダイヤ見直し検 討、地区公民館等の行事等のダイヤと の連動による利用促進	地域住民の移動手手段確保のた め運行を開始し、概ね事業の目 標は達成できている。 今後、ダイヤの見直しや更なる 利用促進により、目標の達成、 それによる持続可能な交通ネット ワークが構築されることを期待 する。	
	特定非営利活動法人 むかつく	久津・上小田～向津具地区 ～久津・上小田	—	A	A	需要の多い商業施設の利用がしやすい ダイヤの見直し検討や地域行事等をダ イヤに連携してもらうように働きかける。		

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
柳井市地域公共交通 会議	柳井三和交通(有)	I 系統(水梨-柳井駅)	—	A	A	利用の容易さを図るため、曜日の拡大 を検討 1名乗車の解消に向けた広報の手法を 再検討	地域住民の移動手段確保のため 運行を開始し、概ね事業の目 標は達成できている。 今後、住民への周知や運行日 の拡大等により、目標の達成、 それによる持続可能な交通ネッ トワークが構築されることを期待 する。	
		II 系統(坂川-柳井駅)	—	A	B	利用の容易さを図るため、曜日の拡大 を検討 2名乗車の解消に向けた広報の手法を 再検討		
		III 系統(水梨-坂川-大畠 駅)	—	A	C	利用者の掘り起こし 1名乗車の解消に向けた広報の手法を 検討 午前便のダイヤを改正し、他の公共交 通への接合を検討		